



市政記者クラブ加盟社 各位

感染性胃腸炎の集団発生について

次の施設において、「感染性胃腸炎」の集団発生事例がありましたのでお知らせします。

1 施設等

盛岡市内の教育・保育施設（利用者 100 人以上）

2 患者の状況等

- (1) 5月16日（月）に、施設から複数の利用者及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の報告
- (2) 同日から保健所が調査を実施し、5月2日（月）から5月17日（火）までに27名に症状（嘔吐、下痢等）があったことを確認

3 原因究明の調査等

- (1) 保健所が5月18日（水）に調査した結果、8名からサポウイルスを検出
- (2) 給食を原因とする食中毒の可能性は低いと判断

4 保健所からのお願い

感染性胃腸炎は、例年、秋から冬にかけて流行しますが、一年を通してみられます。

社会福祉施設等はもちろん、各家庭においても、調理や食事の前、トイレやおむつ交換の後の手洗いを心がけ感染予防に努めるとともに、消毒には塩素系漂白剤等を適正な濃度でを使用することをおすすめします。

5 その他

(1) サポウイルスとは

サポウイルスとは、嘔気・嘔吐と下痢を主症状とする急性胃腸炎の原因のウイルスのひとつで、一年を通してみられます。ウイルスが体に取り込まれてから1～2日の潜伏期間を経て症状が現れ、通常3日以内に回復に向かいます。本人の自覚症状がなくなっても1～2週間程度は便中にウイルスが排出されるといわれています。

(2) 予防方法

ア トイレやおむつ交換の後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。

イ 下痢や嘔吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業を自粛する。

ウ 加熱調理をする場合、85～90度・1分半以上十分に加熱する。

エ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤等で消毒する。

オ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関に相談する。

(3) 感染性胃腸炎の集団発生状況

区 分	盛 岡 市				岩 手 県 （盛岡市含む。）			
	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 （サポ ウイルス等）	計	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 （サポ ウイルス等）	計
令和4年4月 ～現在	0	0	1	1	3	0	9	12
昨年同期 （令和3年度）	0	0	0	0	8	0	0	8